

2025年3月期 第2四半期

決算説明資料

2024年11月26日

小池酸素工業株式会社

証券コード 6137

目次

- 当社の概要 P2
- 2025年3月期 第2四半期 決算の概要 P7
- 2025年3月期 業績予想 P20
- 最後に P24
- APPENDIX P25

当社の概要

会社概要

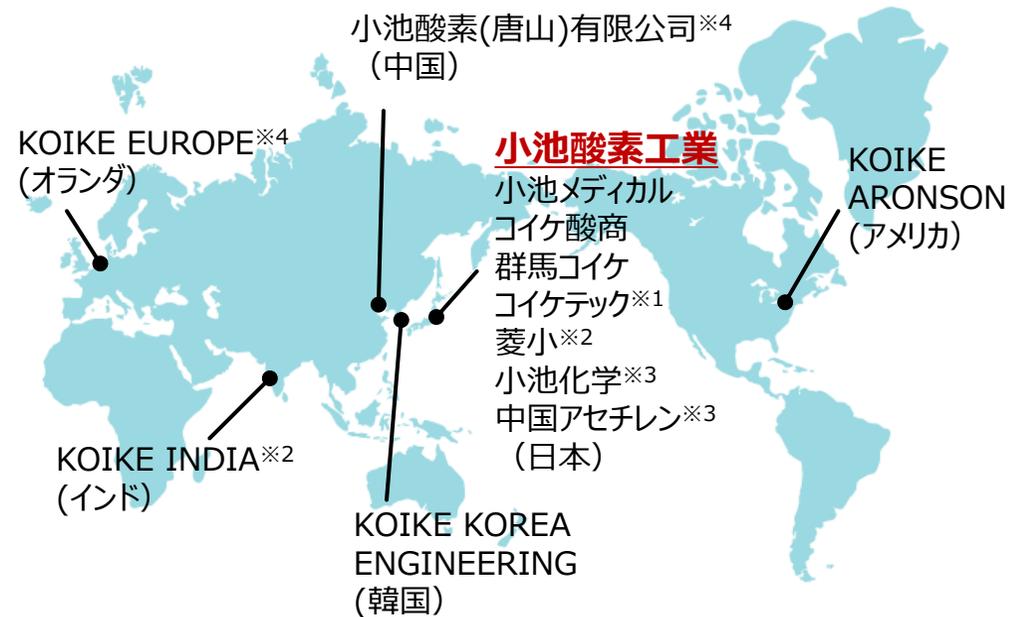
<経営理念>

ガス・溶接・切断の総合製造・販売会社として
世界市場での顧客の満足と信頼を獲得する

<事業セグメント>



<グローバルネットワーク>



※1 持分法適用会社

※2 非連結子会社

※3 関連会社

※4 別途、中国、フランス、イタリアに販売子会社あり

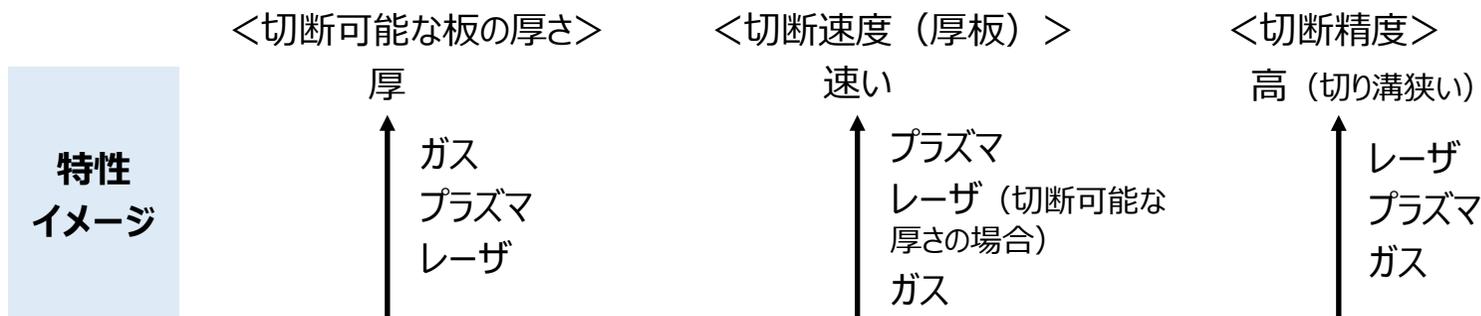
セグメント概要

セグメント名	売上比率 (2023年度)	製品ラインナップ	概要
機械装置	43.1%	切断機、溶接治具、関連ソフトウェア等 	<ul style="list-style-type: none"> 厚板切断を中心に、熱切断（ガス・プラズマ・レーザ）技術を活かし、半自動のポータブル切断機から大型のCNCT切断機まで多くの機種を製造販売。周辺機器から関連ソフトウェアまで幅広く取り扱う。 販売先は造船、建築資材、橋梁、建設機械向けが大半。
高圧ガス	39.1%	ガス、関連機器、医療機器等 	<ul style="list-style-type: none"> 産業用・医療用主体に高圧ガスを製造・販売。シリンダーガス（ガスボンベ）供給メーカーとして、全国に充填工場を構え、販売店、各業種の工場及び病院向けに納入。 医療分野では呼吸器関連中心に展開し、CPAP、酸素濃縮器、酸素流量計、吸引器、パルスオキシメーター等を取り扱う。
溶接機材	16.2%	溶接機、溶接ワイヤ、溶接関連資材等 	<ul style="list-style-type: none"> 溶接関連機材・製商品の国内代表メーカーと提携し、商社として、溶接機・溶接ロボット・溶接自動化装置や溶接材料を販売。 また、各種産業機器・保護具等、生産現場で必要な器具を幅広く販売。ガスホース接手や乾式安全器では、国内・海外のトップブランドであるアポロロックを有す。
その他	1.5%	排ガス処理装置、ヘリウム回収精製装置等 	<ul style="list-style-type: none"> 液晶や半導体製造に使用される可燃性ガス、毒性ガス等を独自の方式で燃焼、分解させる燃焼式排ガス処理装置を製造・販売。 光ファイバーや半導体等の製造工程中に利用されたヘリウムガスを効率良く回収・精製しリサイクルするヘリウム回収精製装置を製造・販売。

ガス、プラズマ、レーザーについて

- 切断材料となる金属は大きく分けて薄板（自動車等）と厚板（造船、建築資材、橋梁、建設機械等）があり、当社は厚板を中心とした切断機を取り扱う。厚板切断機は薄板用と比較するとニッチな市場。
- 切断（溶断）方法は、主にガス、プラズマ、レーザーの3種類。いずれも熱エネルギーで金属を溶かして切断することは同じだが、それぞれ特性があり、使用目的によって使い分けされる。

切断方法	概要	主な切断用途
ガス	ノズルの先端で形成された炎によって、切断部を加熱し、そこに酸素を吹きこみ、酸化反応を起こさせるとともに、溶融した切断材料を吹き飛ばして切断。	造船、建築資材、橋梁、建設機械等
プラズマ	加工する金属と電極の間においてプラズマアークを作り出し、それにより高温になった切断材料が溶融した後、エアやガスなどの気体を強い圧力で流し込み、溶融部分を吹き飛ばすことによって切断。	造船、建築資材、橋梁、建設機械等
レーザー	虫眼鏡による熱発生原理を応用した切断方法。レーザービームをノズル先端より材料に照射する際に、レンズで絞り込み、切断材料が溶融した後、各材料に最適な種類 of ガスをレーザービームと同軸に切断材料に吹き付けて、溶融部分を吹き飛ばすことによって切断。	建築資材、橋梁、建設機械等



2025年3月期 第2四半期 決算の概要

決算ハイライト

- 2025年3月期第2四半期は、前年同期比で売上高・利益とも伸長。営業利益、経常利益の伸び幅が大きい。
- 機械装置セグメントで、当社オンリーワン技術のDBC（Dual Beam Control）ファイバーレーザー切断機や、サウジアラビアで新造船所向けに設備納入が進んだこと等、中大型機の販売が好調。
- 2025年3月期は、引き続き機械装置セグメント中心に堅調な推移を予想し、通期業績予想を引き上げ。

2025年3月期 第2四半期 連結決算サマリー

- 2025年3月期第2四半期は、前年同期比で売上高・利益とも伸長。営業利益と経常利益の伸び幅が大きい。
- 業績をけん引したのは、機械装置セグメント。DBCファイバーレーザー切断機や、サウジアラビアで新造船所向けに設備納入が進んだこと等、中大型機の販売が好調に推移。

※2024年11月8日発表の修正後予想 (百万円)

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	売上比	伸び率 (前年同期比)	2025年3月期 通期予想※	進捗率
連結売上高	23,922	25,393	100%	+6.2%	52,400	48.5%
売上総利益	7,332	8,242	32.5%	+12.4%	-	-
販売費及び 一般管理費	5,537	5,930	23.4%	+7.1%	-	-
営業利益	1,795	2,311	9.1%	+28.7%	4,700	49.2%
経常利益	2,188	2,609	10.3%	+19.2%	5,200	50.2%
親会社に帰属する 当期純利益	1,356	1,562	6.2%	+15.1%	2,950	52.9%

地域別売上高

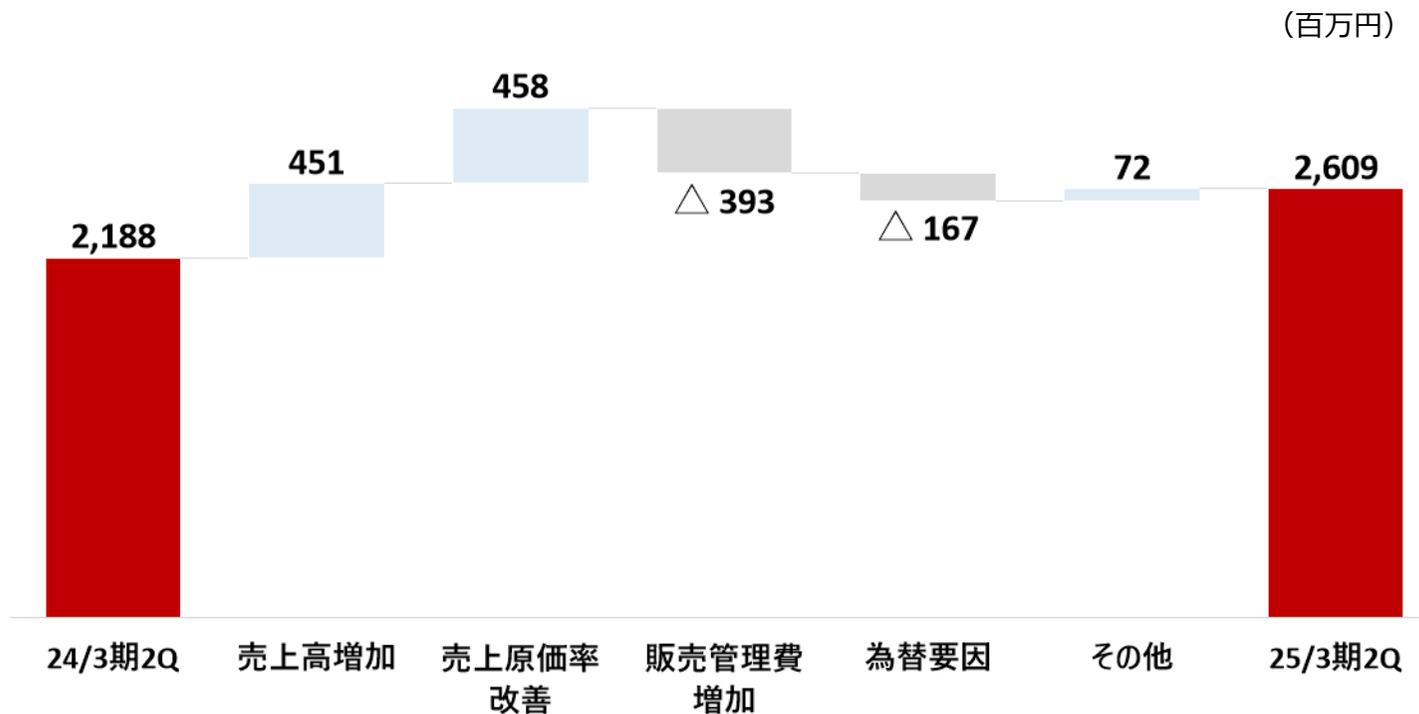
- 海外売上高は北米とアジア（主に中国・韓国）を中心に全体の約27%。
- 前年同期からの伸び率についても北米とアジアが高い。

(百万円)

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	構成比	伸び率 (前年同期比)
日本	18,234	18,511	72.9%	+1.5%
北米及び 中南米	2,991	3,710	14.6%	+24.1%
アジア	2,141	2,558	10.1%	+19.5%
欧州	545	588	2.3%	+7.9%
その他の地域	9	24	0.1%	+147.4%
合計	23,922	25,393	100%	+6.2%

経常利益増減要因

- 経常利益伸長の主な要因は、DBCファイバーレーザー切断機や、サウジアラビアで新造船所向けに設備納入が進んだこと等、中大型機の販売が引き続き好調に推移したこと。
- 販売管理費増加の主な要因は、給与引き上げ等による人件費増と営業活動活発化。
- 為替はマイナス要因も、全体の利益増加の中で吸収。



連結貸借対照表

- 資産の部 : 売上債権△705百万円、棚卸資産 + 1,391百万円
- 負債の部 : 仕入債務△113百万円
- 純資産の部 : 利益剰余金 + 776百万円

(百万円)

	2024年3月末	2024年9月末	増減額
資産の部			
流動資産	41,247	41,986	+739
固定資産	32,228	32,834	+606
資産合計	73,476	74,821	+1,345
負債の部			
流動負債	24,241	23,473	△768
固定負債	6,850	6,792	△58
負債合計	31,092	30,265	△827
純資産の部			
株主資本	30,487	31,313	+826
その他包括利益累計額	8,858	9,829	+971
非支配株主持分	3,037	3,412	+375
純資産合計	42,384	44,555	+2,171
負債純資産合計	73,476	74,821	+1,345
(自己資本比率)	(53.5%)	(55.0%)	(+1.5%)

キャッシュ・フロー計算書

- 営業CF：減価償却費737百万円、棚卸資産増加+876百万円
- 投資CF：有形固定資産取得による支出483百万円
- 財務CF：長期借入金返済・ファイナンスリース債務返済553百万円、配当金支払842百万円

(百万円)

	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	△160	1,304	+1,464
投資活動による キャッシュ・フロー	△360	△371	△11
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,094	△1,670	△576
現金及び現金同等物に 係る換算差額	116	375	+259
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△1,499	△362	+1,137
現金及び現金同等物の 期首残高	14,573	16,190	+1,617
現金及び現金同等物の 中間期末残高	13,073	15,828	+2,755

セグメント別決算概要

- 機械装置セグメントの業績が大きく伸長。

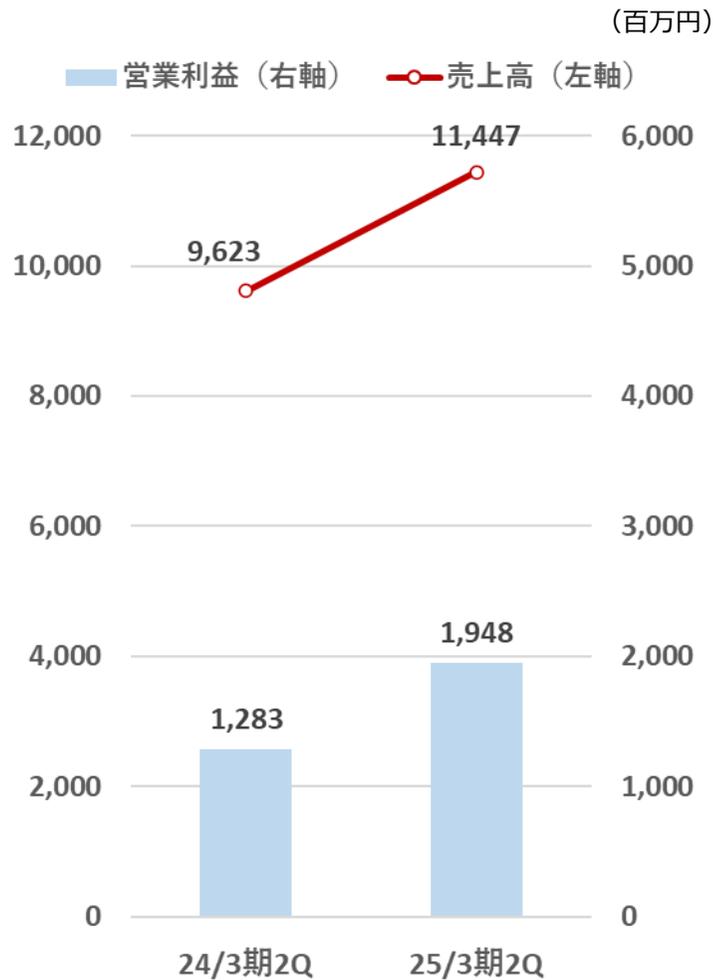
(百万円)

	2024年3月期 第2四半期		2025年3月期 第2四半期		増減額	
	売上高	営業利益※1	売上高	営業利益※1	売上高	営業利益※1
機械装置	9,623	1,283	11,447	1,948	1,824	665
高压ガス	9,880	734	9,609	716	△271	△18
溶接機材	4,054	318	4,131	282	77	△36
その他	362	96	205	70	△157	△26
単純合計	23,992	2,433	25,393	3,017	1,401	584
調整額※2	—	△638	—	△706	—	△68
連結	23,992	1,795	25,393	2,311	1,401	516

※1 営業利益：各セグメントの数値は調整前ベース

※2 調整額：報告セグメントに帰属しない全社費用（一般管理費）等

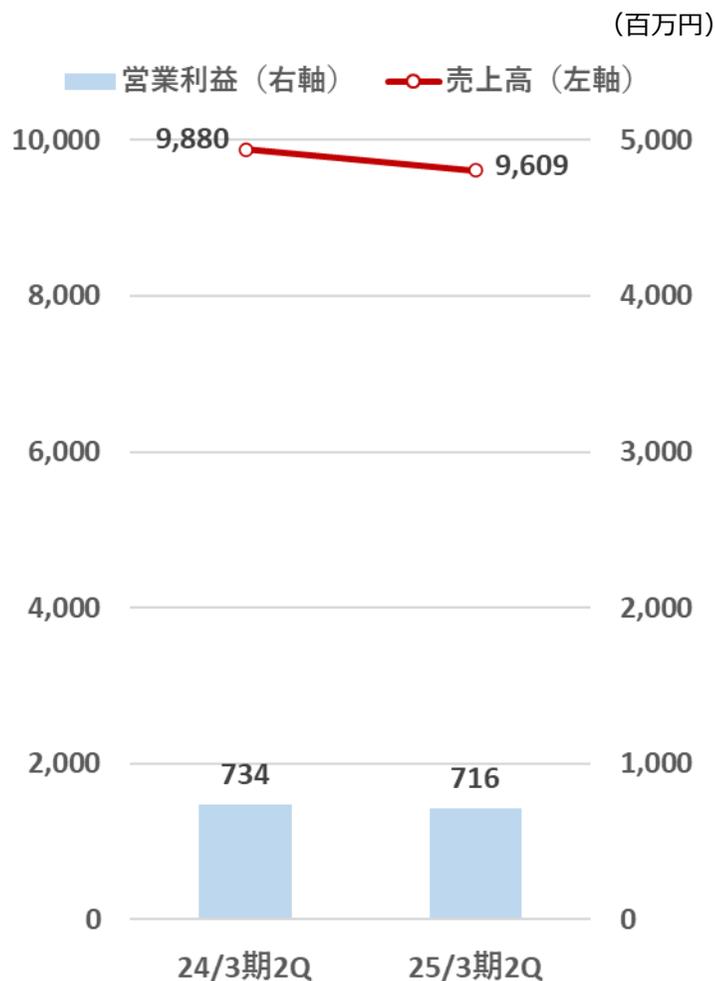
セグメント別決算概況：機械装置セグメント



- 機械装置セグメントにおいては、前年同期比で売上高・営業利益とも大きく伸長。
- 国内市場では、新規顧客への営業活動を強化したことにより受注が増加し、DBCファイバーレーザー切断機が引き続き好調に推移。
- 海外市場では、中国・韓国にて造船業界の設備投資に回復傾向が見られたことに加え、サウジアラビアの新造船所向けの設備納入の進展が寄与。

※営業利益は全社費用等の調整前ベース

セグメント別決算概況：高圧ガスセグメント

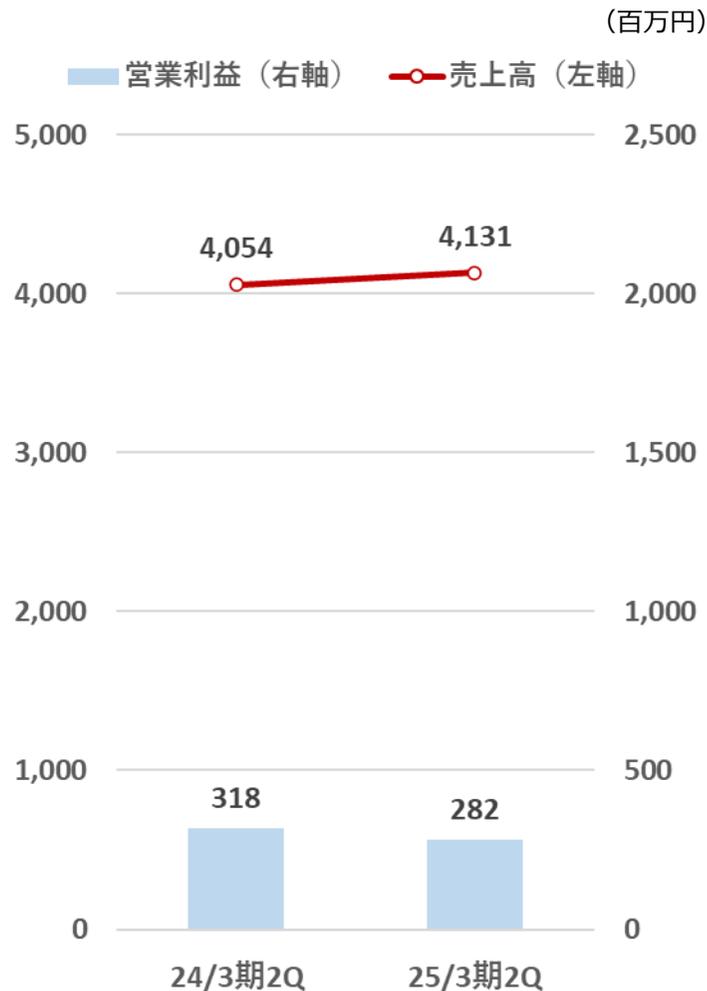


- 高圧ガスセグメントにおいては、前年同期比で売上高・営業利益とも、やや減少。
- 産業ガス分野においては、2024年問題による物流コストの高騰等に伴う価格改定、深耕拡大および新規拡販活動に注力したものの、市場環境が停滞。
- 医療分野においては、CPAPレンタルや院内感染防止対策機器の営業活動を強化するも、売上高は減少。

※CPAP：睡眠時無呼吸症候群患者の呼吸をサポートする器具

※営業利益は全社費用等の調整前ベース

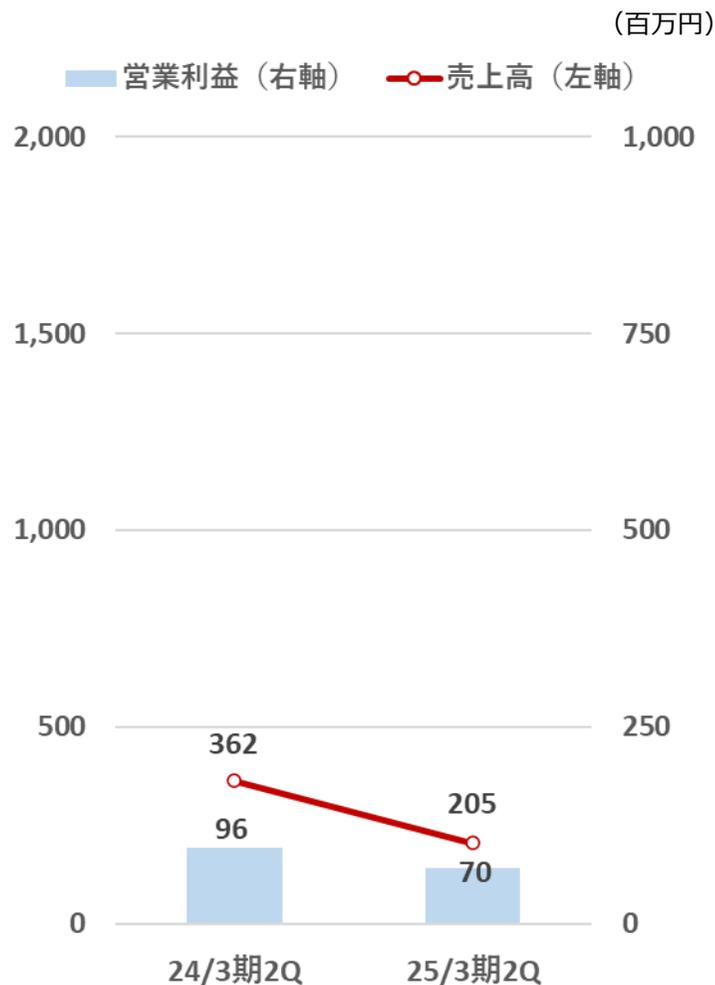
セグメント別決算概況：溶接機材セグメント



- 溶接機材セグメントにおいては、前年同期比で、売上高は増加、営業利益は減少。
- 展示会の積極的な開催や参加に加え、溶接材料や溶接機の拡販に努め、特に溶接ロボットの需要が高く、積極的な省人化、自動化の提案を実施。
- また、出荷量の管理や電動工具などの取扱い商材を増やし、商材の幅を広げる活動に注力したことから、売上高は増加したものの、仕入価格等のコストの上昇の販売価格への転嫁が遅れたこと等により利益は減少。

※営業利益は全社費用等の調整前ベース

セグメント別決算概況：その他



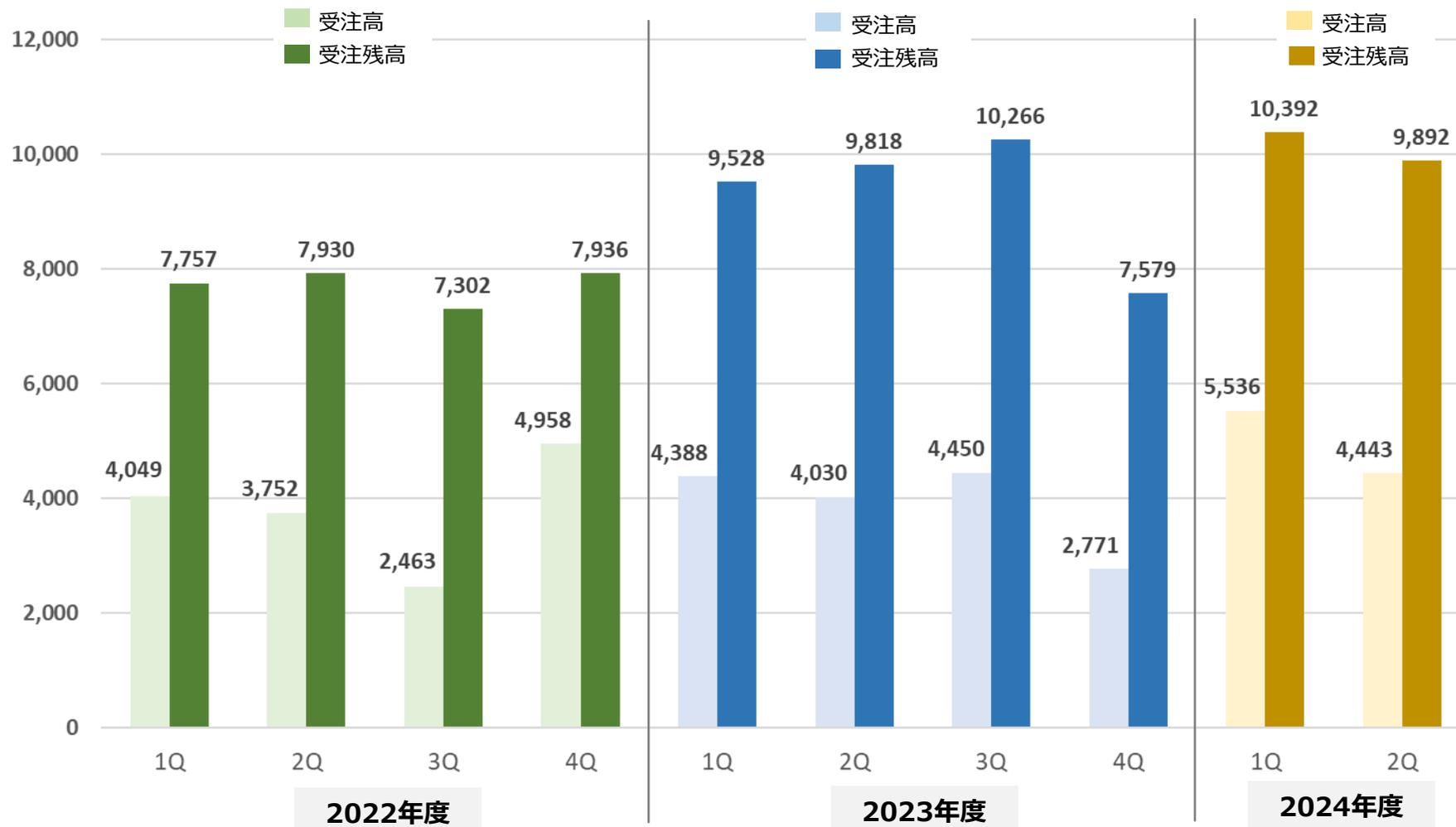
- その他セグメントにおいては、前年同期比で売上高・営業利益とも減少。
- ヘリウム回収精製装置および海外での排ガス処理装置の販売が減少したことが要因。

※営業利益は全社費用等の調整前ベース

受注高・受注残高推移（機械装置セグメント）

- DBCファイバーレーザー切断機中心に受注高、受注残高ともに昨年度より高い水準で推移。
- なお、今期2Q時点の受注残高は、1Q比で若干減少しているが、サウジアラビア要因等。

(百万円)



※受注高は四半期ごとの数値、受注残高は各四半期末時点の数値

2025年3月期 業績予想

業績予想（連結）

- 2025年3月期業績予想を上方修正（2024年11月8日発表）。
- 引き続き機械装置セグメント中心に堅調な推移を予想。

（百万円）

	2024年3月期 実績	2025年3月期 通期予想	増減金額	前期比
連結売上高	51,387	52,400	+1,013	+2.0%
営業利益	4,314	4,700	+386	+8.9%
経常利益	5,149	5,200	+51	+1.0%
親会社に帰属する 当期純利益	3,056	2,950	△106	△3.5%

業績予想（セグメント別）

- セグメント別の業績予想については、機械装置セグメントを上方修正。高圧ガス、溶接機材、その他セグメントについては据え置き。

<業績予想（セグメント別）>

（百万円）

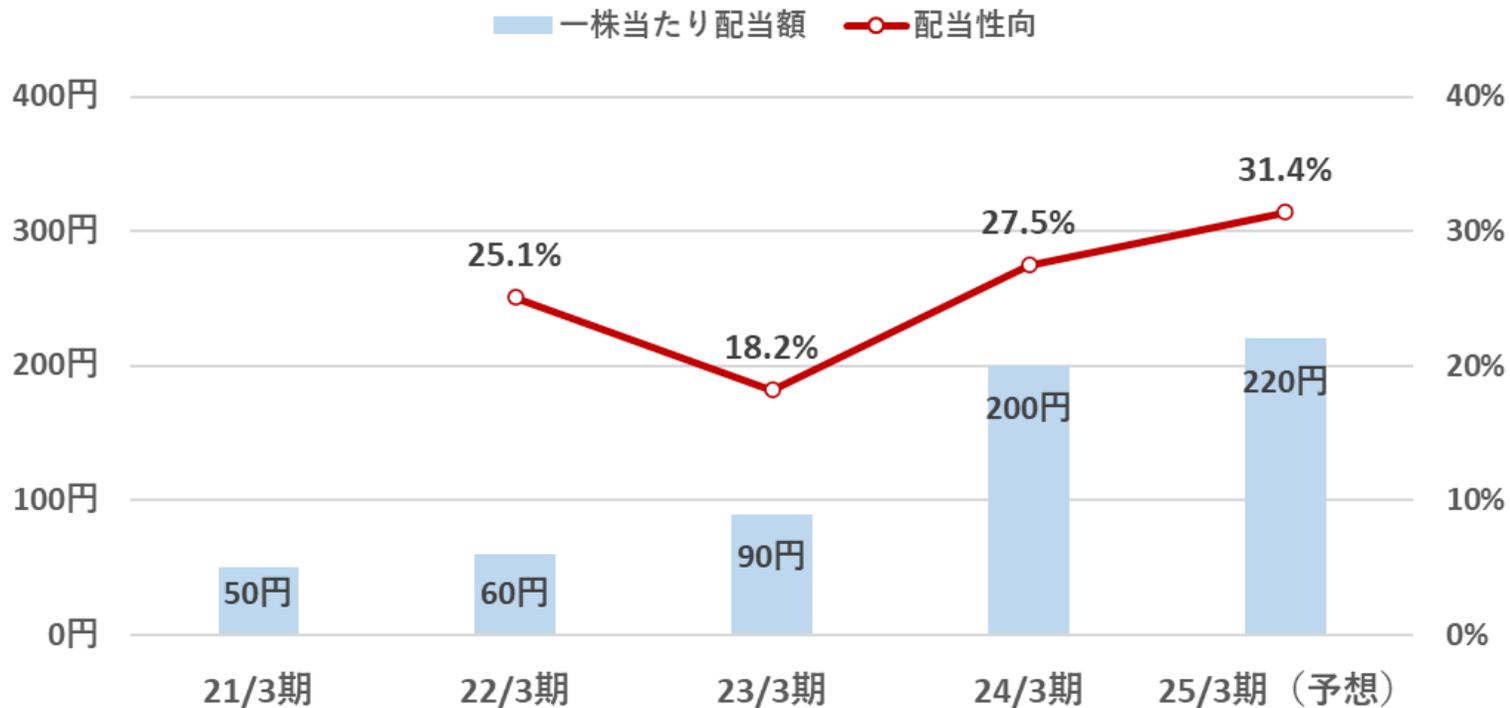
	2024年3月期 実績		2025年3月期 通期予想		前年比	
	売上高	営業利益※1	売上高	営業利益※1	売上高	営業利益※1
機械装置	22,159	3,383	22,700	3,800	+541	+417
高圧ガス	20,103	1,455	20,400	1,400	+297	△55
溶接機材	8,343	604	8,470	650	+127	+46
その他	780	231	830	250	+50	+19
単純合計	51,387	5,674	52,400	6,100	+1,013	+426
調整額※2	—	△1,359	—	△1,400	—	△41
連結	51,387	4,314	52,400	4,700	+1,013	+386

※1 営業利益：各セグメントの数値は調整前ベース

※2 調整額：報告セグメントに帰属しない全社費用（一般管理費）等

株主還元（配当方針）

- 配当性向30%以上を基本方針としながら安定的な配当を目指しており、期末配当は当初の業績予想を上回ったことを勘案、従来の配当予想から20円増配し、1株当たり220円に修正。



※21/3期の配当性向は、
当期純損失のため、算出せず

DBCファイバーレーザー切断機を実際に使用いただいているお客様の声を動画にてお届けします。

APPENDIX

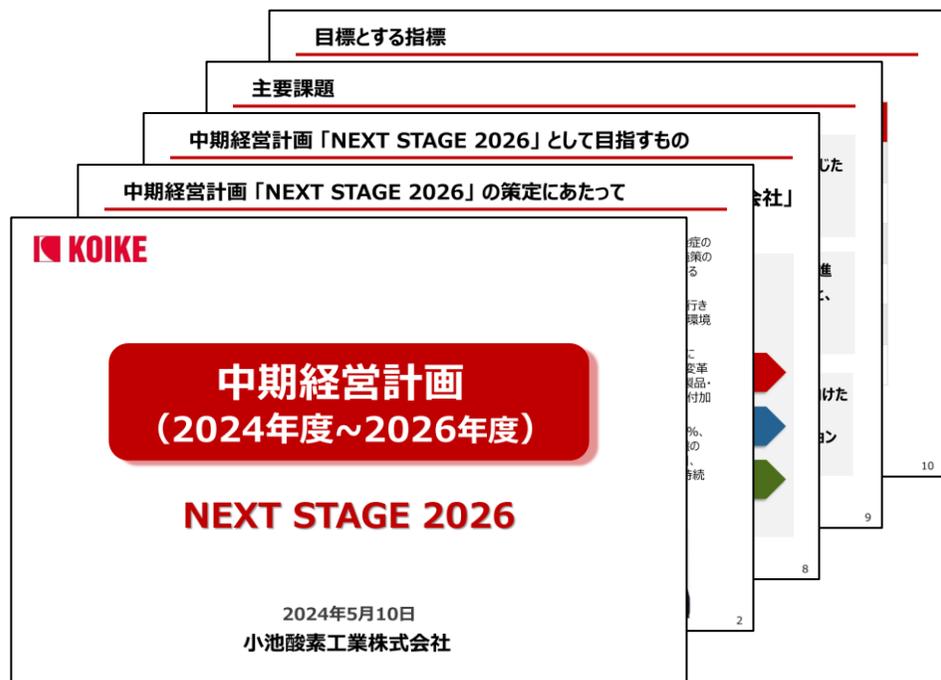
会社概要

会社名	小池酸素工業株式会社
本社所在地	東京都墨田区太平三丁目4番8号 KOIKE Bld.7階
創業年月日	1918年10月15日
会社設立年月日	1936年12月8日
資本金	40億2847万2259円
上場区分	東証スタンダード（コード：6137）
従業員数	連結 1,053名、単体 335名（2024年9月30日現在）
代表者	小池 英夫
事業内容	ガス・溶接・切断のトータルシステムサプライヤーとして、鉄やアルミ・ステンレスなど金属材料を加工するあらゆる産業に様々な種類のガスおよび溶接・切断のための加工機械やシステムならびに関連製商品を開発・生産・販売
国内製造拠点	【機械装置】KOIKEテクノセンター（千葉市緑区）、【切断器具、医療機器】株式会社群馬コイケ、【ガス】千葉工場、白井工場、兵庫工場、その他充填会社
国内販売拠点	関東支社、京葉支社、札幌営業所、東北営業所、茨城営業所、北関東支店、名古屋支店、大阪支店、神戸営業所、中国支店、四国営業所、九州支店、長崎営業所 他
国内グループ会社	株式会社小池メディカル、コイケ酸商株式会社、株式会社群馬コイケ（以上、連結子会社）、株式会社コイケテック、株式会社菱小、小池化学株式会社、中国アセチレン株式会社 他
海外グループ会社	Koike Aronson, Inc.、Koike Europe B.V.、Koike Korea Engineering Co., Ltd.、小池酸素(唐山)有限公司（以上、連結子会社）、Koike Cutting & Welding(INDIA)PVT.LTD 他

2024年度上半期トピックス①

中期経営計画「NEXT STAGE 2026」を公表

- 5月10日に、2026年度までの中計経営計画として、「NEXT STAGE 2026」を公表。
- 「資本コストと株価を意識した経営の実現」に向けた取り組みを反映させた内容。



2024国際ウェルディングショー（大阪）への出展

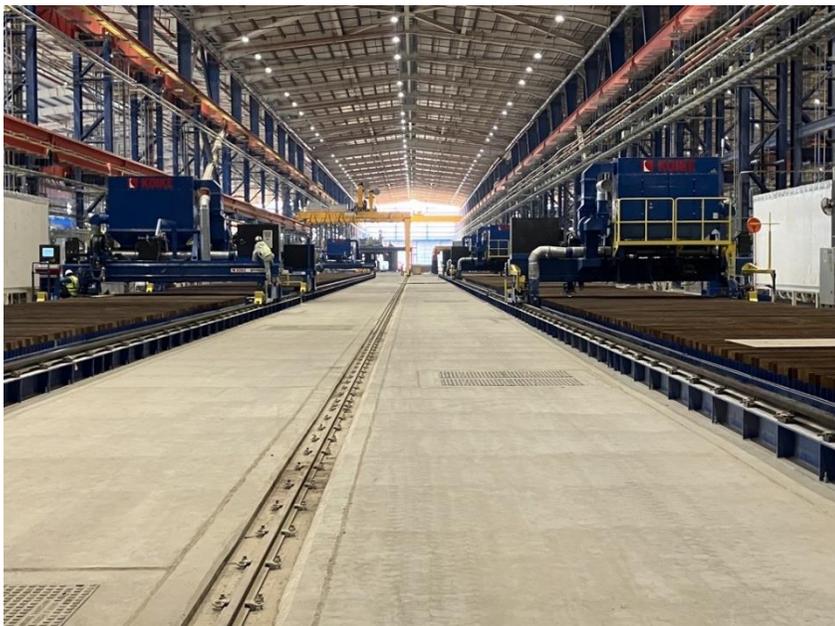
- 4月24日～27日の日程でインテックス大阪にて開催。
- 「DBC切断に勝るものは何もない」をテーマに出展し、多数のお客様が来場。DBCファイバーレーザー切断機をはじめとして多くの引き合いを獲得。



2024年度上半期トピックス②

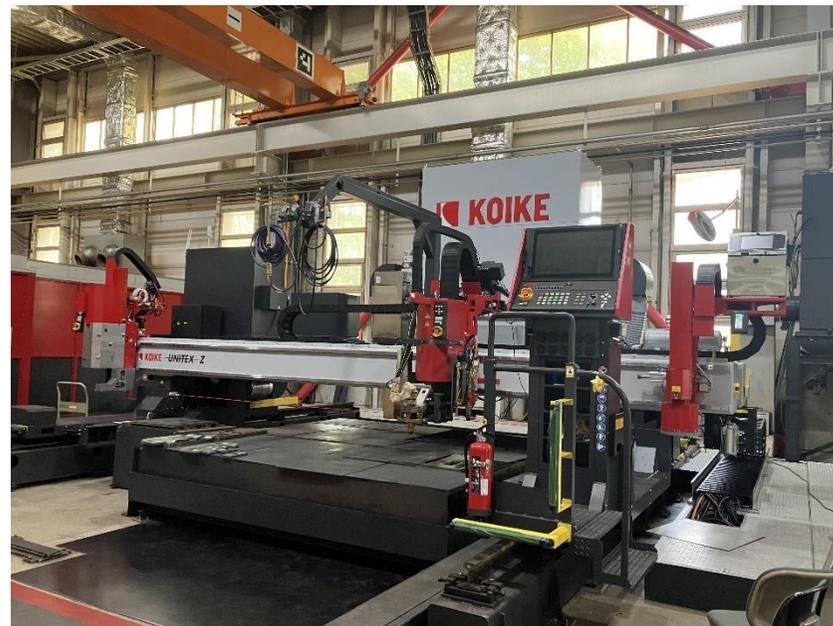
サウジアラビア案件について

- サウジアラビア案件は、Saudi Aramco社が主導した大型造船所プロジェクトであり、2017年にスタート。
- 当社は、大型切断機24台を納入し、この10月に据付を完了した。



プラズマ切断機の新製品を発売

- 主に造船向けをターゲットに、従来のプラズマ切断機をさらに高性能化した「SUPER-400Pro II α」を販売開始。
- 従来機よりも切断面品質を向上させたことに加えて、10%の省電力化と10%の切断速度向上を実現。



本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【お問い合わせ先】

小池酸素工業株式会社

経営企画室長：川田 担当：山村

TEL：03-3624-3118

Email：IR@koikeox.co.jp

YouTube KOIKEチャンネル ★チャンネル登録お願いします★

<https://www.youtube.com/@koikesansokogyo2140>